

# MKN会員セミナーのご案内

## 第64回

### ものづくりにおける 新製品・新技術開発の盲点

#### ◆プログラム◆

#### ～クルマづくり現場の経験から～

#### 1. 新製品開発と新技術開発チームの違い

- ・開発チーム(Whenいつ、Whereどこで、Who誰が、What何を、Whyなぜ、Howどのように)
- ・市場調査 企画 開発 量産
- ・機能チーム(燃費向上、安全、法規対応技術、軽量化)
- ・技術動向 顧客要求 時代要求

#### 2. 盲点は？

株式会社構造計画研究所 シニアアドバイザー 大坪 和己



株式会社本田技術研究所出身、初代シビックシャトル電装設計担当と北米電装不具合解消、日本車発レジェンド量産エアバッグ開発、初代ビート企画提案ののち、商品企画室主任研究員。そこでLCV(ライフクリエイティブークル)企画提案、インド、タイ専用車企画や製作所(工場)立ち上げフォロー、メキシコ工場立ち上げフォロー後、2013年に33年間勤務で定年退職。退職後は株式会社構造計画研究所ソリューションビジネスサポート業務で現在に至る。2014～2021年まで東京大学ものづくりインストラクター養成スクール特任研究員を務める。

#### 開催日時

2024年5月28日(火) 13:30～16:30

#### 開催場所

勝永六番町ビル 1階 会議室  
東京都千代田区六番町6



#### 参加費 (税込み)

**MKN会員:参加費無料(要事前予約)**

裏面の申込書ではなく、メール返信にてお申し込みください。

**一般参加:1名につき 29,700円(消費税込み)**

地域ものづくりスクール連絡会・開かれたものづくり研究会

各会員:1名につき 15,400円(必ず会員番号をご記入ください。)

#### お申し込み方法

◆MKN会員の方は別途お送りするご案内メールへの返信にて参加、不参加をご連絡ください。

◆一般参加ご希望の方、地域ものづくりスクール連絡会会員は、裏面申込書の「MKN会員セミナー」に✓をして、必要事項をご記入の上、ファクシミリでご送信ください。

Webサイト [https://mkn.or.jp/Seminar\\_form.html](https://mkn.or.jp/Seminar_form.html) からもお申し込みいただけます。

◆MKN会員以外の方には、請求書を郵送いたしますので、事前に銀行振込でお願いいたします。

◆定員40名、先着順に受け付けます。MKN会員の方が優先となりますので、満員の際はご容赦ください。